

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376600405
事業所名	JA愛知厚生連あつみの郷グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	令和2, 3年度に引き続き、コロナ禍で地域との交流に支障はあるものの、今まで築いてきた関係が途切れることのないように、地域見守隊活動、児童館の子供たちとの交流、市民館での認知症カフェの再開など、できることを行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナ禍の感染状況を見ながらではあるが、書面開催も活用しつつ、地域の民生委員、町会長や包括職員、またほかのグループホームの管理者などをメンバーとして年に六回の運営推進会議を行っている。現在はホームフロアではできていないが、感染がおちついたら利用者も含めた開催をする予定である。毎回テーマを決めて行っており、支援アイデアや情報のやりとりの場として活用している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	報告書の提出で、必ず年に一度は実際に市の窓口管理者や計画作成者が赴き、関係を築いている。市民館で認知症カフェを開き、そのチラシを市の窓口にもおかせてもらっている。市民館まつりには利用者の作品を展示した。研修の通知ももらっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	毎月ホーム便りを家族に送り、写真や文章でホームの様子を伝えている。面会に制限がかかっている時に電話で連絡をとり、利用者の様子を伝えるとともに、要望をききとるようにしている。利用者アンケートを実施している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								

備考欄

--